

令和 8 年度第1回岡山支部評議会

令和 7 年度支部事業実施結果 及び令和 8 年度の取組状況について



令和 8 年 7 月 1 7 日
全国健康保険協会岡山支部

【令和7年度の事業実施結果及び評価】欄のKPI達成状況については、以下のとおり表記しています。

KPI達成状況 ○：達成
 △：概ね達成（KPIに達していないが、前年度より伸びている）
 ×：未達成

岡山支部事業実施結果について

●サービス水準の向上（業務G）

令和7年度の事業実施結果

【KPI】

- ①サービススタンダードの達成状況を100%とする
[KPI達成状況：サービススタンダード100%（○）]
- ②サービススタンダードの平均所要日数7日以内を維持する
[KPI達成状況：平均所要日数 5.14日（○） 全国順位：34位]
- ③現金給付等の申請書類に係る窓口での受付率を対前年度(6.7%)以下とする
[KPI達成状況：窓口受付率 6.5%（○） 全国順位：34位]

【取組内容】

- ①迅速な業務処理の徹底
 - 傷病手当金や出産手当金等の生活保障の性格を有する現金給付については特に、申請受付から支給までの標準期間（サービススタンダード：10日間）を遵守した。
- ②郵送による申請の促進
 - 加入者・事業主の利便性の向上や負担軽減の観点から、郵送による申請を促進するため、電話相談時に郵送申請の案内を徹底。また、令和8年1月の電子申請導入に向けて広報を実施した。
 - ・電子申請セミナーを開催（2月に2回）
- ③加入者や事業主からの相談・照会についての的確に対応
 - 受電体制の見直し及び本部が実施する研修による相談業務の標準化を行った。
 - ・電話相談対応研修（11月）
- ④「お客様満足度調査」や「お客様の声」の活用によるサービスの向上
 - 調査結果やお客様の声を活用し、課題を洗い出し改善を図った。
 - ・シナリオ・チェックシートを活用した勉強会を実施（9月）
 - ・本部主催の電話相談対応研修の伝達研修を実施（11月）

令和8年度KPIと取組内容

【KPI】

- ①サービススタンダードの達成状況を100%とする
- ②サービススタンダードの平均所要日数7日以内を維持する
- ③現金給付等の申請書類に係る窓口での受付率を対前年度以下とする

【取組内容】

- ①迅速な業務処理の徹底
 - すべての申請について、迅速な業務処理を徹底する。特に、傷病手当金や出産手当金等の生活保障の性格を有する現金給付については、申請受付から支給までの標準期間（サービススタンダード：10日間）を遵守する。また、平均所要日数7日以内を維持する。
- ②電子申請の推進（新規）
 - 加入者の利便性の向上や負担軽減の観点から、電子申請を促進する。特に、健康保険委員及び社会保険労務士会に積極的な働きかけを行う。
- ③「お客様満足度調査」や「お客様の声」の活用によるサービスの向上
 - CS向上委員会を中心として、調査結果やお客様の声を活用し、課題を洗い出し改善を図る。

岡山支部事業実施結果について

●現金給付の適正化の推進（業務G）

令和7年度の事業実施結果

【KPI】
設定なし

【取組内容】

- ①傷病手当金と障害年金等との併給調整の適正な実施
 - 年金機構等への照会を行うとともに、更正リストを活用した調整を行った。
 - ・調査や併給調整を行った件数：823件
- ②現金給付の支給決定データ等の分析や加入者等からの情報提供により不正の疑いが生じた申請の対応
 - 支給の可否を再確認するとともに、内容を精査し、事業主への立入検査を実施するなど、厳正に対応した。
 - ・立入検査：3月実施
- ③海外出産育児一時金の審査
 - 海外の渡航がわかる書類の確認のほか、出産の事実確認等を徹底した。
 - ・帰国出産かつ振込先が受取代理人の件数：72件
- ④柔道整復施術療養費の審査
 - 加入者への文書照会などの強化や面接確認委員会を実施し、重点的に審査を行った。
 - ・面接確認委員会：12月実施
- ⑤あんまマッサージ指圧・はりきゅう施術療養費の審査
 - 長期かつ頻回等の過剰受診の適正化を図るため、加入者及び施術者へ文書により施術の必要性について確認するなど、審査を強化した。
 - ・長期かつ頻回受診の該当者1名対応中
- ⑥被扶養者資格再確認の徹底
 - 宛所不明による未送達事業所に係る所在地調査や未提出事業所への電話勧奨を実施した。
 - ・令和7年度提出率：84.2% ※令和6年度提出率88.7%
- ⑦本部が実施する現金給付等の適正化に向けた業務研修
 - 業務研修に参加し、研修の成果を適正化に反映させた。
 - ・業務研修：7月・9月・12月・3月

令和8年度取組内容

【KPI】
設定なし

【取組内容】

- ①傷病手当金と障害年金等との併給調整の適正な実施
 - 業務マニュアルに基づき、日本年金機構との情報連携やマイナンバー情報照会等を確実に実施し調整を行う。
- ②現金給付の支給決定データ等の分析や加入者等からの情報提供により不正の疑いが生じた申請の対応
 - 保険給付適正化PTにおいて内容を精査し、支給の可否を再確認する。また、必要に応じて、事業主への立入検査を実施する。
- ③海外出産育児一時金の審査
 - 海外の渡航がわかる書類の確認のほか、出産の事実確認等を徹底し不正請求を防止する。
- ④柔道整復施術療養費の審査
 - データ分析ツールを活用し多部位かつ頻回及び負傷と治癒等を繰り返す申請を抽出し、加入者への文書照会や面接確認委員会を実施する。また、不正が疑われる施術者は、地方厚生局へ情報提供を行う。
- ⑤あんまマッサージ指圧・はりきゅう施術療養費の審査
 - 長期かつ頻回な施術の適正化を図るため、加入者及び施術者へ施術の必要性についての確認を行う。
- ⑥被扶養者資格再確認の徹底
 - マイナンバーを活用した事前調査により対象を絞り込み、加入者・事業主の負担軽減を図り、効果的に実施する。また、未提出事業所への被扶養者状況リストの提出勧奨を実施し、確実に提出させる。
- ⑦業務スキルの向上
 - 研修により、業務の正確性と迅速性を高める。また、適用徴収及び年金給付等の知識の向上を図る。

岡山支部事業実施結果について

●DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進（業務G、企画総務G）

令和7年度の事業実施結果

【KPI】
設定なし

【取組内容】

- ①オンライン資格確認等システムの周知徹底
 - オンライン資格確認システムの周知を実施した。
（実施：令和8年度）
 - ・令和8年5月メールマガジンにて周知
 - 電子処方箋の周知を実施した。
 - ・LINE、メールマガジンにて周知
- ②マイナンバーカードと健康保険証の一体化への対応
 - マイナ保険証利用の一層の推進に取り組んだ。
 - a. 加入者・事業主への広報
 - ・納入告知書同封チラシ、健康保険委員日より、健活通信、LINE、メールマガジン（3回）で周知
 - ・各関係団体との会議やイベントにてチラシを配布
 - b. 資格確認書や資格情報のお知らせ等を遅延なく発行
- ③電子申請等の導入
 - 令和8年1月の電子申請導入に向けた加入者や事業主へ広報を実施した。
 - ・納入告知書同封チラシ（2回）、健活通信、LINE、メールマガジン（2回）で周知した。
 - ・各関係団体との会議やイベントにてチラシを配布した。

令和8年度取組内容

【KPI】
設定なし

【取組内容】

- ①マイナ保険証による保険診療の周知徹底
 - 加入者・事業主に対してマイナ保険証の制度の概要やメリット等の広報を行う。
 - 良質かつ効率的な医療の提供に繋がる「電子処方箋」について加入者・事業主へ周知を図る。
- ②電子申請等の推進
 - 利用率向上のため加入者・事業主及び関係団体への広報を行う。

岡山支部事業実施結果について

● 保険者機能強化予算の執行状況（業務G）

令和7年度の事業実施結果

医療費適正化等予算

項番	区分	項目	予算（千円）	実績	執行率	備考
1	新規	被扶養者資格の再確認にかかる提出勧奨	137	0	0%	令和7年9月から、事業所が提出した書類を外部委託先経由で順次支部に提供される予定だったが、外部委託先からの提供時期が11月にずれ込んだため、本部が実施する勧奨と支部が実施する勧奨が短期間で重ならないよう調整することが困難となり、事業の実施を見送った
2	継続	任継手続き案内セット	699	597	85.4%	
合計（千円）			836	597	71.4%	

岡山支部事業実施結果について

●効果的なレセプト点検の精度向上（レセプトG）

令和7年度の事業実施結果

【KPI】

- ①協会のレセプト点検の査定率（※）について対前年度（0.125%）以上とする

（※）査定率＝協会のレセプト点検により査定（減額）した額÷協会の医療費総額

【KPI達成状況：査定率 0.125%（○） 全国順位：20位】

- ②協会の再審査レセプト1件当たりの査定額を対前年度（8,230円）以上とする

【KPI達成状況：査定額 8,719円（○） 全国順位：28位】

【取組内容】

- ①効果的かつ効率的なレセプト点検の推進

- 自動点検のマスタメンテナンス（抽出条件の改善）を継続し、システムを最大限に活用した点検を実施した。
- 社会保険診療報酬支払基金における審査傾向や審査実績等を共有するとともに、高点数レセプトの点検を強化する等、点検効果の高いレセプトを優先的かつ重点的に審査した。
- 社会保険診療報酬支払基金との協議による疑義解消や情報交換、勉強会の実施等により点検強化を図った。
- 外部講師による研修や他支部との情報交換等を行い、タイムリーな情報収集及び早期の疑義解消等により、内容点検の更なる質的向上を図った。

- ②資格点検、外傷点検、求償業務の実施

- システムを活用した資格点検、外傷点検、求償業務を確実に実施した。

令和8年度KPIと取組内容

【KPI】

- ①協会のレセプト点検の査定率（※）について対前年度（0.125%）以上とする

（※）査定率＝協会のレセプト点検により査定（減額）した額÷協会の医療費総額

- ②協会の再審査レセプト1件当たりの査定額を対前年度（8,719円）以上とする

【取組内容】

- ①効果的かつ効率的なレセプト点検の推進

- 「レセプト内容点検行動計画」を策定・実践し、システムを最大限に活用した点検を実施する。また、効果的かつ効率的な点検につながる自動点検のマスタメンテナンス（抽出条件の改善）を毎月実施する。
- 社会保険診療報酬支払基金における審査傾向や査定実績等を共有し、点検員のスキルアップを図るとともに、内容点検効果の高いレセプトを重点的に点検する。
- 社会保険診療報酬支払基金に対して、再審査請求理由を明確に示すことに努めるとともに、毎月の協議の場において、協会の知識や考え方を丁寧に伝える。なお、社会保険診療報酬支払基金との協議事項の選定については、点検員全員で検討を行う。
- 外部講師を活用した研修や他支部の査定事例を活用した勉強会等により、点検員のスキルアップを図り、内容点検の査定率の向上を目指す。

- ②資格点検、外傷点検、求償業務の実施

- 資格点検、外傷点検について、システムを最大限に活用し、効果的かつ効率的な点検を実施する。

岡山支部事業実施結果について

●債権管理・回収と返納金債権発生防止の強化（レセプトG）

令和7年度の事業実施結果

【KPI】

- ①返納金債権（診療報酬返還金（不当請求）を除く。）の回収率を対前年度（74.37%）以上とする

[KPI達成状況：債権回収率 65.19%(×) 全国順位：34位]

【取組内容】

①債権管理と回収強化

- 発生した債権（返納金・損害賠償金等）の全件調定及び納付書の速やかな送付を徹底した。
- 「債権管理・回収計画」に基づき、電話・文書・訪問催告により早期回収に向けた取り組みを着実に実施した。
- 保険者間調整※1を積極的に活用した。
- 弁護士と連携した効果的な催告、法的手続き及び強制執行（差押）による債権回収強化を図った。

②返納金債権発生防止強化

- オンライン資格確認による無資格受診の発生抑制効果をより向上させるため、事業所からの早期の届出について、日本年金機構と連携した周知広報を実施した。

令和8年度KPIと取組内容

【KPI】

- ①返納金債権（診療報酬返還金（不当請求）を除く。）の回収率を対前年度（65.19%）以上とする

【取組内容】

①債権管理・回収と返納金債権発生防止の強化

- 「債権管理・回収計画」を策定・実践し、確実な回収に努める。
- 発生した債権（返納金、損害賠償金等）については、全件調定及び納付書の速やかな送付を徹底するとともに、早期回収に向けた取組を着実に実施する。
- 早期回収に努めるため、保険者間調整※1を積極的に活用するとともに未納者に対しては、早期の段階から弁護士等と連携した催告及び法的手続きを実施する。
- 本部が開催する債権管理・回収事務担当者研修に参加し、スキルアップを図る。
- オンライン資格確認を有効に活用させるため、事業主からの加入者の資格関係の早期かつ適正な届出について、日本年金機構と連携し、周知広報を実施する。

●生活習慣病予防健診・事業者健診データ取得率等の向上（保健G）

令和7年度の事業実施結果

【KPI】

生活習慣病予防健診実施率を66.3%以上とする

[KPI達成状況：健診実施率 62.3%（△） 全国順位：23位]

【取組内容】＜生活習慣病予防健診＞

- ①健活企業宣言実施事業所等への事業所訪問（トップセールス）による受診勧奨を実施
 - 「事業所まると健幸サポート事業」として下期に実施した。
 - ・52事業所に訪問
- ②自己負担額軽減及び付加健診の対象年齢拡大、生活習慣病予防健診、特定健診の広報を実施
 - LINE・メルマガ・納入告知書同封チラシ等により実施した。
- ③健診機関と連携した受診勧奨の実施
 - 受診勧奨実施対象15機関のうち12機関で目標を達成した。
- ④特に受診率の低い被保険者5人未満の事業所および経年未受診被保険者に対しDMによる受診勧奨の実施
 - 下記対象・結果にて勧奨を実施した。
 - ・対象事業所6,900事業所 7年度健診受診 1,283事業所（18.6%）
 - ・対象被保険者 39,902人 7年度健診受診 4,181人（10.5%）
 - ※生活習慣病予防健診受診（40歳以上） 213,620人

令和8年度KPIと取組内容

【KPI】

生活習慣病予防健診等実施率を67.4%以上とする

【取組内容】＜生活習慣病予防健診＞

- ①健活企業宣言実施事業所等への事業所訪問（事業所まると健幸サポート事業）を実施し生活習慣病予防健診及び人間ドック健診の周知・受診勧奨を実施
- ②LINE・メルマガ等の広報ツールを活用した広報の充実
- ③健診機関と連携し、報奨金を活用した受診勧奨の実施
- ④特に受診率の低い被保険者10人未満の事業所の被保険者に対し 集団健診を実施する健診機関と連携した受診勧奨の実施（新規）

● 特定健診受診率の向上（保健G）

令和7年度の事業実施結果

【KPI】

事業者健診データ取得率を14.3%以上とする

【KPI達成状況：健診データ取得率 13.2%（△）全国順位：6位】

【取組内容】＜事業者健診データ取得＞

①外部委託機関による勧奨業務

●令和7年度7,909件を取得した。

②健診機関の早期提供に対し報奨の提供

●対象9機関全機関が目標達成した。

※事業者健診データ取得 38,774人

【KPI】

被扶養者の特定健診実施率を32.0%以上とする

【KPI達成状況：健診実施率 31.1%（×）全国順位：17位】

【取組内容】＜被扶養者の特定健診＞

①魅力ある会場及びオプション健診等を追加した協会独自の集団健診及び施設健診

●下記のとおり実施した。

- ・4・5月健診施設実施 8機関実施 1,924人受診
- ・集体会場 64日程実施 5,648人受診

②市町村主催の集団健診における特定健診とがん検診との同時実施促進

●促進の結果24市町村 1,114人の受診につながった。

③岡山県内居住の他支部所属被扶養者にかかる特定健診受診案内

●受診案内を送付し、特定健診受診者数 18,609人という結果につながった。

令和8年度KPIと取組内容

【KPI】

事業者健診データ取得率を14.3%以上とする

【取組内容】＜事業者健診データ取得＞

①外部委託機関による勧奨業務実施

②健診機関からのデータの早期提供を促すための報奨金実施

【KPI】

被扶養者の特定健診実施率を34.3%以上とする

【取組内容】＜被扶養者の特定健診＞

①魅力ある会場及びオプション健診等を追加した協会独自の集団健診及び施設健診の実施

②市町村主催の集団健診における特定健診とがん検診との同時実施促進

③岡山県内居住の他支部所属被扶養者にかかる特定健診受診案内の実施

● 特定保健指導実施率及び質の向上（保健G）

令和7年度の事業実施結果

【KPI】

- ①被保険者の特定保健指導実施率を40.2%以上とする
[KPI達成状況：保健指導実施率 36.0%（△） 全国順位：5位]
②被扶養者の特定保健指導実施率を36.2%以上とする
[KPI達成状況：保健指導実施率 38.1%（○） 全国順位：2位]

【取組内容】

- ①特定保健指導実施率の向上
- 標準モデルに沿った特定保健指導利用案内を徹底した。
・案内率 88.1%（全国平均82.3%）※令和7年度第2四半期実績
 - 健活企業宣言実施事業所等への事業所訪問（トップセールス）等による受入勧奨を実施した。
・事業所まると健幸サポート 52事業所訪問
 - 被扶養者対象の協会独自の集団健診及び施設健診における健診当日の初回面談の実施を推進した。
・ホテル健診特定保健指導実施率約90%
- ②特定保健指導の質の向上
- 健幸サポート向上委員会での双方向での情報交換等を通じた特定保健指導の質の向上と量的拡充を実施した。
・令和7年度に5回開催
 - 第4期特定健診・特定保健指導における効果的な保健指導スキル習得に向けた研修を実施した。
・外部講師による研修を2回開催

		実施者数	実施率	実施率順位
本人	初回面談	18,707	43.4%	6位
	実績評価	14,996	36.1%	5位
家族	初回面談	672	47.2%	7位
	実績評価	646	41.6%	2位

令和8年度KPIと取組内容

【KPI】

- ①被保険者の特定保健指導実施率を42.1%以上とする

②被扶養者の特定保健指導実施率を37.3%以上とする

【取組内容】

- ①特定保健指導実施率の向上（量的拡大）
- 標準モデル（2022年策定）に沿った特定保健指導の利用案内の徹底
 - 事業所まると健幸サポート事業による受入勧奨を実施
 - 事業者健診データの早期取得を促進し、データ提供事業所への特定保健指導の受入勧奨の実施を推進
 - 健診体系の見直しを契機とし、健診当日の初回面談の実施を推進
 - 被扶養者対象の協会独自の集団健診及び施設健診における健診当日の初回面談の実施を推進
 - 動機づけ支援対象者に生活習慣改善および特定保健指導勧奨通知を実施（新規）
- ②特定保健指導の質の向上
- 健幸サポート向上委員会での双方向による情報交換を通じた、特定保健指導の質の向上と外部委託のさらなる促進による量的拡充
 - 第4期特定健診・特定保健指導においてアウトカム指標が導入されたことを踏まえ、効果的な保健指導において備えるべき要素等のスキル習得に向けた研修を実施

岡山支部事業実施結果について

令和7年度の事業実施結果

【KPI】

- ① 血圧、血糖、脂質の未治療者において健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合を対前年度（39.4%）以上とする

【KPI達成状況：受診者割合 38.7%（×） 全国順位：3位】

【取組内容】

- ① 未治療者への受診勧奨の実施
- 健診の結果、要精密検査・要治療と判定された対象者に、健診機関による早期受診勧奨を実施した。：年間7,968件実施
 - 本部通知実施後に未受診である者に対する支部独自再勧奨を実施した。
- ② 糖尿病性腎症重症化予防事業の効果的な実施
- 健診機関による対象者への受診勧奨を確実に実施した。
 - 糖尿病専門医等による保健指導等を実施した。
 - 特定保健指導該当者かつCKDリスク該当者へフォローアップを実施した。
 - %ΔeGFRに着目した行動変容を促す通知を送付した。
・年間2,665件実施
- ③ その他の重症化予防事業の実施
- 糖尿病予備群（空腹時血糖100mg/dl～125mg/dl）への健診受診予定月1か月前に行動変容を促す通知を送付した。
・年間16,216件送付
- ④ 健康づくり事業推進協議会での意見聴取
- 事業主・学識経験者・行政担当者・健診機関等代表者で構成する健康づくり事業推進協議会によりヘルスリテラシー向上施策の検討を行った。
・令和7年10月に対面、令和8年3月に書面開催
- ⑤ 啓発動画を活用した健診受診後の適切な行動の促進
- 啓発動画の健診機関での放映勧奨、YouTubeでの放映勧奨を実施した。（県内20機関にて放映実施中）

令和8年度KPIと取組内容

【KPI】

- ① 血圧、血糖、脂質の未治療者において健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合（※）を対前年度以上とする

（※）胸部エックス線の検査項目に基づく受診勧奨における医療機関受診率を除く

【取組内容】

- ① 未治療者への受診勧奨の実施
- 健診の結果、要精密検査・要治療と判定された対象者への健診機関による早期受診勧奨を推進
 - 本部通知実施後に未受診である者に対し、支部独自再勧奨を実施
- ② 糖尿病性腎症重症化予防事業の効果的な実施
- 糖尿病専門医等による保健指導等の実施
 - 特定保健指導該当者でCKDリスク該当者へのフォローアップの実施
 - %ΔeGFRに着目し、経年の健診結果を活用した腎機能低下がみられる者に対して行動変容を促す通知を実施
- ③ その他の重症化予防事業の実施
- 糖尿病予備群（空腹時血糖100mg/dl～125mg/dl）への健診受診予定月1か月前に行動変容を促す通知を送付
- ④ 健康づくり事業推進協議会での意見聴取
- 事業主・学識経験者・行政担当者・健診機関等代表者で構成する健康づくり事業推進協議会によるヘルスリテラシー向上施策を検討

岡山支部事業実施結果について

●保険者機能強化予算の執行状況（保健G）

令和7年度の事業実施結果

保健事業予算

項番	区分	項目	予算（実施計画策定時の概算額）（千円）	実績	執行率	備考
1	新規	オブション健診経費	12,396	5,495	44.3%	実施しない健診機関があったため
2	継続	健診推進経費	16,750	2,020	12.1%	令和7年度開始予定だった電子カルテ情報共有サービスにあたり予算計上したものの、国との兼合等にてサービス開始に至っていないため。
3	継続	保健指導推進経費	9,220	5,884	63.8%	

保健事業予算

項番	区分	項目	予算 (千円)	実績	執行率	備考
1	継続	健診実施機関実地指導旅費	168	0	0%	すべて公用車で実施となったため
2	継続	事業者健診の結果データの取得（健診実施機関による委任状取得の委託費）	110	18	16.0%	件数が見込みより少なかったため
3	継続	事業者健診の結果データの取得（事業主等によるデータ作成に要する費用）	212	0	0%	システム対応できなかったものが無かったため
4	継続	事業所に対する事業者健診結果提供同意書及び健診結果提供勧奨	11,770	11,645	98.9%	
5	継続	事業者健診結果の早期提供	3,240	2,959	91.3%	
6	継続	協会主催による集団健診の実施	14,282	13,967	97.8%	
7	継続	協会主催によるホテル健診の実施	4,937	3,069	62.2%	
8	継続	健診パンフレット・チラシの作成	670	768	114.7%	
9	継続	特定健診の受診勧奨	708	702	99.2%	
10	継続	特定健診に係る年度当初のお得な施設健診案内	4,252	2,498	58.8%	
11	継続	生活習慣病予防健診の受診勧奨	886	626	70.7%	
12	継続	中間評価時の血液検査費	2,970	3,171	106.8%	見込みより多くの請求があり、保健指導利用勧奨経費より流用
13	継続	医師謝金	10	0	0%	相談事案なし
14	継続	保健指導パンフレット作成	100	129	128.6%	不足生じたため保健指導事務用品経費から流用
15	新規	保健指導事務用品費（測定機器等）	94	76	81.3%	
16	継続	保健指導用図書	36	26	73.3%	
17	継続	特定保健指導案内にかかる個人情報の共同利用等の周知	1,543	385	25.0%	件数が見込みより少なかったため
18	継続	要治療者への受診勧奨に関する委託業務（健診実施機関委託）	4,183	4,678	111.8%	
19	新規	透析リスク保有者に対する行動変容勧奨通知事業	2,654	2,084	78.5%	
20	継続	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	999	61	6.1%	想定より実施者が少数であったため
21	継続	その他の重症化予防対策	734	542	73.9%	
22	継続	保健事業実施計画アドバイザー経費	95	0	0%	調査研究で依頼する事項がなかったため
合計（千円）			54,653	47,404	86.7%	

●コラボヘルスの推進（企画総務G）

令和7年度の事業実施結果

【KPI】

- ①健康宣言事業所数を2,600事業所以上とする
[KPI達成状況：2,535事業所（+86事業所）（△）]

【取組内容】

- ①健活企業宣言事業所数の拡大
- 8/28に健活企業表彰式並びに表彰事業所による取組事例発表を実施した。（72社99名が出席）
 - 健活企業を対象とした「メンタルヘルスセミナー」（35回645人）、「食事と栄養セミナー」（29回714人）を実施した。
 - 健康宣言「基本モデル」への移行にかかる文書・電話勧奨を実施した。（基本モデル事業所2,403社、移行率94.8%）
 - 広報誌「健活通信」を6月・9月・11月・3月に発行した。
- ②地方自治体等と連携した取組の推進
- 岡山県、岡山市との定期的な意見交換及び各自治体を実施する健康づくり事業への広報協力や健康イベントへ参画した。
- ③商工会議所等関係団体と連携した取組の推進
- 8/1に岡山産業保健総合支援センターと健康づくりに関する包括連携協定を締結
 - 岡山・倉敷商工会議所と連携した健康づくりセミナーの実施（10/21、2/12・2/27に開催）及び健康コラムの掲載（年4回）を行った。
 - 岡山県、岡山大学、経済6団体等が参画する「岡山たいようプロジェクト」と連携した健活企業の推進及び加入者の健康づくり等を啓発した。（9/22に支部長による県知事等の座談会、10/26に山陽新聞朝刊紙面に掲載）
- ④メンタルヘルス対策の実施
- 岡山産業保健総合支援センターとメンタルヘルス等に関する意見交換を実施した。（9/19、11/27、1/20）
 - LINE、メルマガを活用したメンタルヘルスに関する広報の実施した。

令和8年度KPIと取組内容

【KPI】

- ①健康宣言事業所数を2,640事業所（※）以上とする
（※）標準化された健康宣言の事業所数

【取組内容】

- ①健活企業宣言事業所数の拡大
- 健活企業表彰式の実施
 - 健活企業を対象としたセミナーの開催
 - 本部指針に基づいた健康宣言「基本モデル」への円滑な移行
 - 広報誌「健活通信」による健活企業への情報提供
 - 健活企業宣言事業所の拡大に向けた文書、訪問勧奨の実施
- ②地方自治体等と連携した取組の推進
- 岡山県、岡山市等と連携した健康づくり事業の実施
- ③商工会議所等関係団体と連携した取組の推進
- 商工会議所と連携した健康づくり事業の実施
 - 経済関係団体や社会保険労務士会等と連携した健活企業の推進及び加入者の健康づくり等の啓発
- ④健康課題に着目したポピュレーションアプローチの検討・実施
- 産業保健総合支援センターと連携したメンタルヘルスセミナー等の実施
 - 運動・食事習慣等改善要素保有者に着目したセミナー等の実施

岡山支部事業実施結果について

● 医療資源の適正使用（企画総務G）

令和7年度の事業実施結果

【KPI】

- ①ジェネリック医薬品使用割合（数量ベース）（※）を年度末時点で対前年度（88.5%）以上とする
[KPI達成状況：89.7%（△）※R8.2月時点 全国順位：37位]
- ②バイオシミラー使用促進事業を開始し、医療機関や関係団体に働きかけを実施する
[KPI達成状況：（○）]

【取組内容】

- ①ジェネリック医薬品の使用促進
 - 支部HPに「岡山支部ジェネリック医薬品の使用状況」データを掲載した。
 - 地域フォーミュラリにかかる医療機関や関係団体との意見交換を実施した。
 - 12/8に「ジェネリック医薬品処方状況データ（ジェネリック医薬品使用促進ツール）」を1,343医療機関、756薬局に送付した。
 - 加入者向けの各説明会でジェネリック医薬品の使用促進を含めたインセンティブ制度を説明した。
 - 3/25に岡山県後発医薬品の安全使用のための協議会において、使用促進等について関係団体等と協議を実施した。
- ②バイオシミラー（バイオ後続品）の使用促進
 - 岡山県、関係団体（医師会、病院協会、薬剤師会、病院薬剤師会）、県内5医療機関に対して「バイオシミラー使用状況分析結果」を基に意見交換を実施した。
 - 9/11に保険医療関係機関連絡会議、3/25に岡山県後発医薬品の安全使用のための協議会において、バイオシミラーの使用促進への協力依頼を実施した。
- ③上手な医療のかかり方
 - かかりつけ医・かかりつけ薬局の意義、時間外受診・はしご受診の問題点、セルフメディケーションの推進、リフィル処方箋の仕組み、ポリファーマシー（多剤服用の有害事象）等について、HP、LINE、メルマガにて加入者への周知・啓発を実施した。

令和8年度KPIと取組内容

【KPI】

- ①ジェネリック医薬品使用割合（数量ベース）（※）を年度末時点で対前年度以上とする
※ 医科、DPC、歯科、調剤レセプトを対象

【取組内容】

- ①ジェネリック医薬品の使用促進
 - ジェネリック医薬品への理解度向上のための広報の実施
 - 地域フォーミュラリにかかるデータを活用した関係者への働きかけ
 - ジェネリック医薬品使用促進ツールを活用した医療機関等への情報提供
 - 「岡山県後発医薬品の安心使用のための協議会」での意見発信
- ②バイオシミラー（バイオ後続品）の使用促進
 - バイオシミラー使用状況分析結果をもとにした医療機関等への働きかけ
- ③上手な医療のかかり方
 - かかりつけ医・かかりつけ薬局の意義、時間外受診・はしご受診の問題点、セルフメディケーションの推進、リフィル処方箋の仕組みについて、加入者への周知・啓発
 - 本部のデータ分析結果に基づいたポリファーマシー（多剤服用の有害事象）等の加入者等への情報提供及び周知・啓発

岡山支部事業実施結果について

● 広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進（企画総務G）

令和7年度の事業実施結果

【KPI】

- ①全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を59.7%以上とする
[KPI達成状況：対被保険者数割合 57.8%（×）]
- ②SNS（LINE公式アカウント）を運用し、毎月情報発信を行う
[KPI達成状況：（○）]
- ③健康保険委員の委嘱事業所数を前年度（4,000事業所）以上とする
[KPI達成状況：3,883事業所（×）]

【取組内容】

- ①効果的な広報の実施
 - 納入告知書チラシやLINEにおいて、親しみやすいキャラクターを活用したクイズ出題など工夫した広報を実施した。
 - テーマに応じた多様な広報媒体や手法を組み合わせた効果的な広報を実施した。（LINE月2回、メルマガ月2回、納入告知書チラシ月1回、HP随時、健康保健委員日より年3回等）
 - 協会の財政状況や医療費適正化・健康づくり等の取組をHPや納入告知書チラシ等により発信した。
 - 「2026（令和8）年度保険料率改定」「健診体系の見直し」等の重点広報テーマについて、地方第一紙を活用した広報を実施した。
 - 「協会けんぽ」の認知度向上に資する情報や活動を含めた取組みについて、地元メディアを活用した情報を発信した。（岡山たいようプロジェクト、健活企業表彰式）
- ②健康保険委員委嘱者数の拡大
 - 11/11に健康保険委員表彰式を実施した。（理事長表彰2名、支部長表彰11名）
 - 11/14に岡山県社会保険労務士会に対して委嘱協力を実施した。
 - 被保険者数や新規適用事業所等ターゲットを絞った勧奨（訪問・文書）を通年で実施した。
 - 解嘱となった事業所への勧奨を重点的に実施した。
- ③健康保険委員活動の活性化
 - 広報誌「健康保険委員だより」を雑誌型にグレードアップし年3回発行した。
 - 2/12、2/27に岡山・倉敷商工会議所と連携して、健康保険委員を対象とした研修会を開催した。

令和8年度KPIと取組内容

【KPI】

- ①SNS（LINE公式アカウント）を運用し、毎月2回以上情報発信を行う
- ②全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を58.5%以上とする
- ③健康保険委員の委嘱事業所数を対前年度以上とする

【取組内容】

- ①効果的な広報の実施
 - 加入者・事業主目線で分かりやすく、アクセスしやすい広報の実施
 - 多様な広報媒体や手法を組み合わせた効果的な広報の実施
 - 協会の財政状況や医療費適正化・健康づくり等の取組を発信
 - 「2027（令和9）年度保険料率改定」「健診体系の見直し（現役世代への健診事業の拡充）」「健康保険制度の意義や協会の役割等への共感が広がる環境づくり」「電子申請・けんぽアプリの利用促進」等の重点広報テーマについて、本部と連携した一体的かつ積極的な広報の実施
 - コミュニケーションロゴやタグライン（協会の役割や事業の特徴を効果的に発信するための短いフレーズ）を使用し、「協会けんぽ」の認知度向上やSDGsに資する活動を含めた協会の社会的役割の理解促進への取組を実施
 - 地域・職域特性を踏まえたきめ細かい広報及び地元メディアへの積極的な発信 また、SNS（LINE）やけんぽアプリ、メールマガジンの普及・活用
- ②健康保険委員委嘱者数の拡大
 - 日本年金機構や社会保険労務士会等の関係団体と連携した勧奨の実施
 - 新規適用事業所や健康保険委員の資格喪失等の機会を捉えた勧奨の実施
 - 被保険者数に応じた勧奨（文書・電話・訪問）の実施
- ③健康保険委員活動の活性化
 - 広報誌「健康保険委員だより」による健康保険委員への情報提供
 - 健康保険委員を対象とした研修会の開催

岡山支部事業実施結果について

● 保険者機能強化予算の執行状況（企画総務G）

令和7年度の事業実施結果

医療費適正化等予算

項番	区分	項目	予算 (千円)	実績	執行率	備考
1	継続	納入告知書同封チラシの作成	4,233	1,888	44.6%	委託の単価について、予算策定時よりも安価に契約ができたため
2	新規	岡山支部キャラクターのデザイン追加	165	230	139.3%	不足分の金額については、同予算科目の「LINE公式アカウントを活用した情報発信」より流用
3	継続	LINE公式アカウントを活用した情報発信	1,101	436	39.6%	LINE配信原稿を委託する予定としていたが、支部独自で作成する保健師コラムや健康保険クイズがあり、委託する必要性がなかったため
4	継続	新聞広告を活用した広報	3,218	3,053	94.9%	
合計（千円）			8,717	5,607	64.3%	

保健事業予算

項番	区分	項目	予算 (千円)	実績	執行率	備考
1	継続	健活企業向け広報誌「健活通信」の発行	1,428	914	64.0%	
2	継続	健活企業管理システムの保守契約	160	132	82.6%	
3	継続	健活企業表彰事業	435	268	61.5%	
4	継続	健活企業宣言勸奨事業業務委託	1,061	631	59.5%	
5	継続	健活企業向け食事・栄養セミナーの実施	4,400	2,519	57.3%	
6	継続	健活企業向けメンタルヘルスセミナーの実施	4,400	1,925	43.8%	委託の単価について、予算策定時よりも安価に契約ができたため。あわせて実施件数についても、予算策定時より下回ったため
7	継続	健活企業カルテの情報提供	2,764	1,184	42.8%	委託の単価について、予算策定時よりも安価に契約ができたため。あわせて実施件数についても、予算策定時より下回ったため
合計（千円）			14,648	7,573	51.7%	